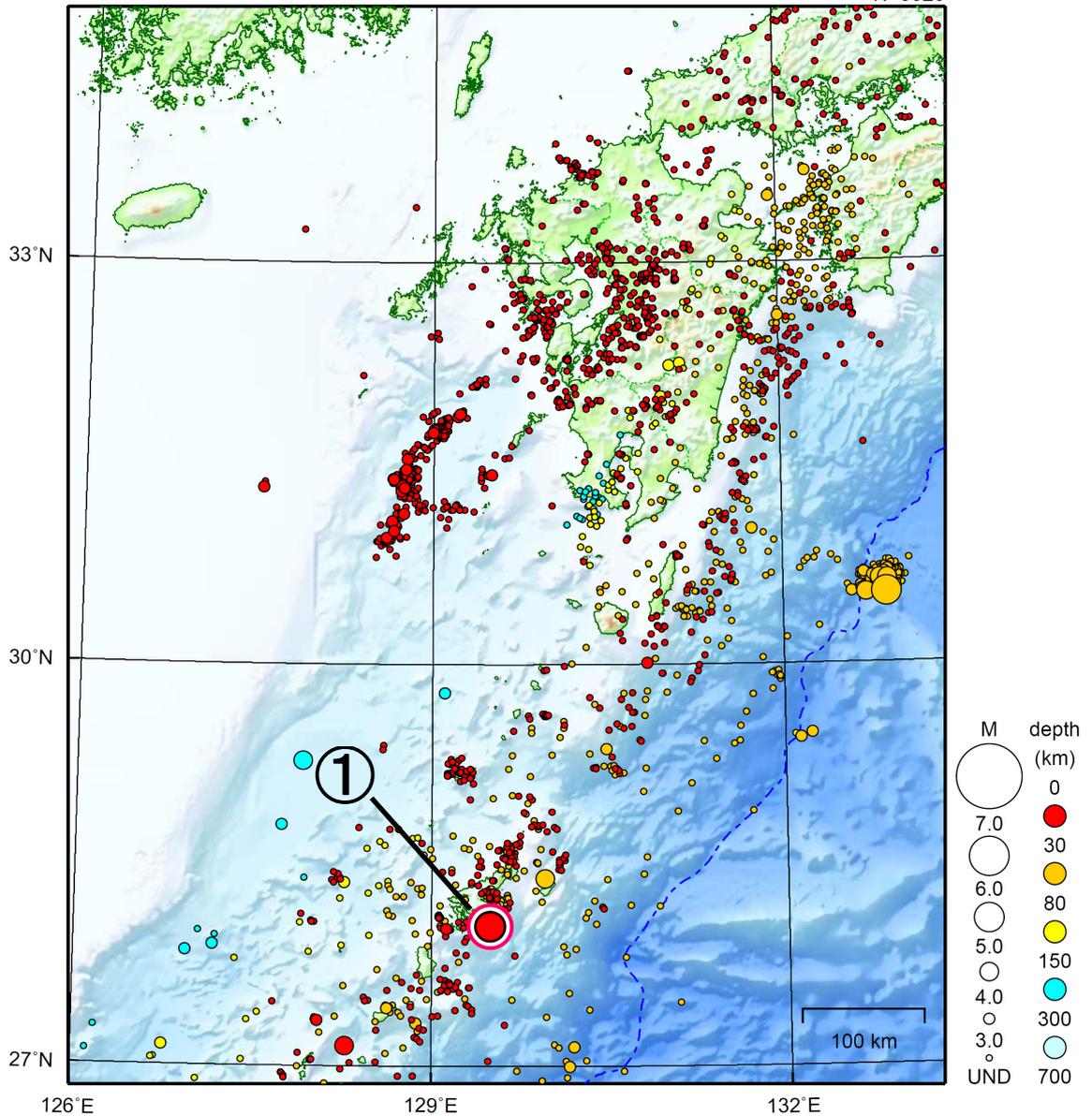


九州地方

2016/01/01 00:00 ~ 2016/01/31 24:00

N=3320



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

① 1月9日に奄美大島近海でM5.4の地震（最大震度4）が発生した。

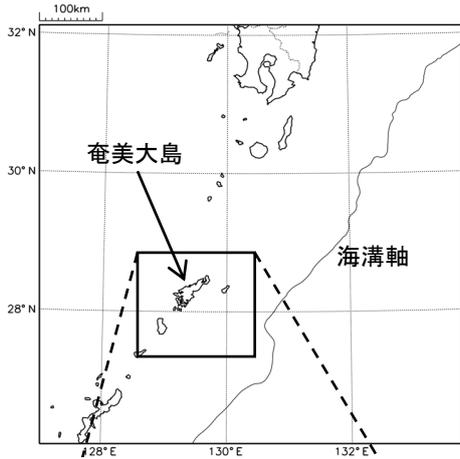
（上記期間外）

2月3日からトカラ列島近海で地震活動がやや活発となった。

[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

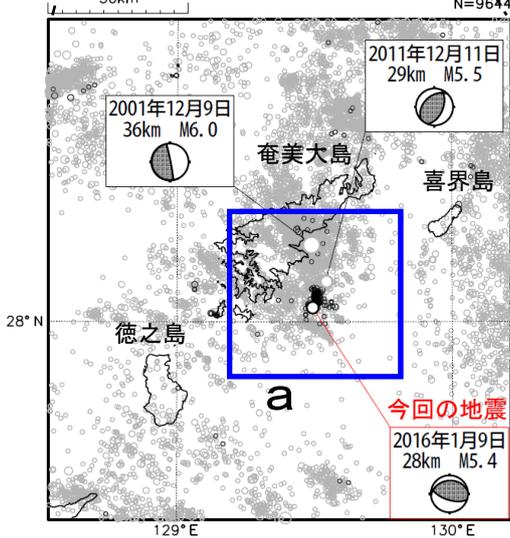
1月9日 奄美大島近海の地震



震央分布図

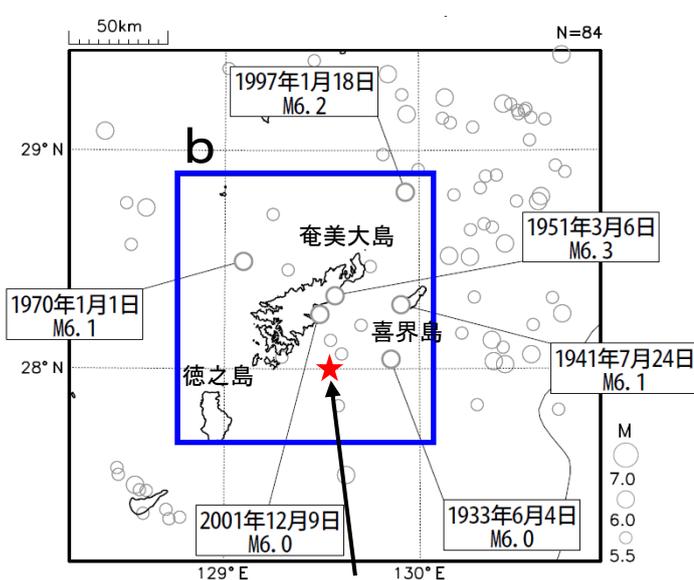
(1994年10月1日～2016年1月31日
深さ0～40km、 $M \geq 2.0$)

2016年1月の地震を濃く表示
図中の発震機構はCMT解



震央分布図

(1923年1月1日～2016年1月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.5$)



今回の地震の震央位置

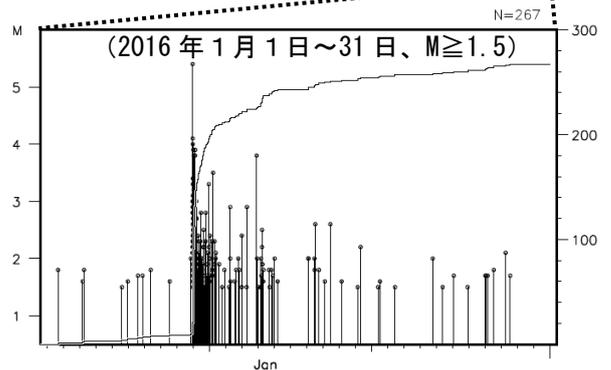
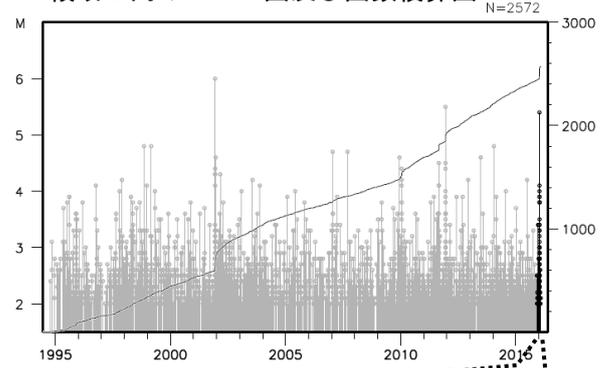
2016年1月9日23時12分に奄美大島近海の深さ28kmでM5.4の地震(最大震度4)が発生した。この地震の発震機構(CMT解)は、南北方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

この地震の発生以降、一時的に余震活動が活発となり、最大震度1以上を観測した余震が11回発生した。余震活動はほぼ収まっている。

1994年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近(領域a)では、地震活動が活発な領域で、M4.0を超える地震がしばしば発生している。そのうち、2001年12月9日に発生したM6.0の地震(最大震度5強)では、住家一部損壊1棟などの被害が生じた(被害は、総務省消防庁による)。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域b)では、M6.0以上の地震が時々発生している。そのうち、1970年1月1日に発生したM6.1の地震(最大震度5)では、負傷者5人、住家一部破損1,462棟などの被害が生じた(被害は「日本被害地震総覧」による)。

領域a内のM-T図及び回数積算図



領域b内のM-T図

